

【アイデア部門】

環境整備賞 神田 信

視覚障害者単独移動少しでも安全確実に。 幸せのハンカチと白杖利用

視覚障害の就労において、移動はバリアの一つであるが、重度障害者等の就労支援の制度ができたことは朗報である。だが、まだ全ての人が使えないのが現状。

それも踏まえ、誰もが持っているハンカチを使ってのアイデアです。

単独で白杖歩行をしていると声を掛けてもらえる時とそうでない時があります。

声を掛けて欲しい時には、杖のグリップのゴム紐にハンカチを付けて歩くと声を掛けて欲しいサインにしたい。それにより、周りの人は迷わず声を掛けれるようになる。

また、白杖を高く上げるとSOSの印というが普及していない。地方等で歩行者のいない信号横断をする際に、ハンカチをつけて白杖を高く上げると信号がわからずに道路横断に困っているサインにしたい。今の時代、車を安全なところに止めて横断サポートをしてくれる人はいるはずである。それにより単独で歩行できるようになる人もいるように思う。

以上、白杖を高く上げるSOSと共に、ハンカチを使ったSOSも普及させたい。

これを周知する際に、ハンカチを付けていない白杖者にもできるだけ声を掛けましょうと併せて呼び掛けたい。福祉の制度も期待するところであるが、周囲の人の支援が、就労をしやすくするだけでなく、白杖歩行の安全性と確実性を増やし、ふれあいに依る、笑顔あふれる今以上の社会にしたい。

審査員コメント

障害をお持ちの方だけでなくすべての方が、困っている時に出す共通のサインがあれば、周囲の者も支援しやすいと思います。とても具体的で実用的です。

ちょっとしたアイデア、気づきで、声をかけやすくすることが、ハッピーへの前進だと感じます。



神田 信

視覚障害当事者。勤務先株式会社パリミキ
認定NPO法人視覚障害者の就労を支援する会タートル理事、日本視覚障害者団体連合弱視部会
部会長、J R P S 神奈川幹事として活動する他、視覚障害者の信号機道路横断問題にも有志で
とりくんでいる。